



1. CSWとは

2. 北京+25プロセス

CSW日本代表 (2011-2017)
十文字中学校長高等学校長 橋本ヒロ子



CSW 国連女性の地位委員会 (Commission on the Status of Women)

設置：1946年 当初は人権委員会の下部委員会 女性たちの働きかけで1946年6月に人権委員会などと同等の国連経済社会理事会(経社理ECOSOC)の機能委員会の一つに昇格

委員国当初(15か国) 現在45カ国(アフリカ13、アジア太平洋11、ラテン米/カリブ9、西欧・その他8、東欧4)

事務局 1946年－2010年：国連経済社会局 女性の地位向上部
2011年以降 国連ウイメン

2・国連におけるCSWの位置づけ

CSWは、政治・市民・社会・教育分野等における女性の地位向上に関し、ECOSOCに勧告・報告・提案等を行い、ECOSOCはこれを受けて、総会(第3委員会)に対して勧告を行う。



1946-1962 女性の人権

(人間としての権利、参政権、婚姻、労働)

- ・ 国連発足時1945年国連加盟国51か国のうち女性が選挙権を持っていたのは25か国のみ。

CSWの最初の活動は女性参政権の確立であり、そのため女性の政治的権利条約の内容を検討し1952年に総会で採択された。



1946-1962 女性の人権

(人間としての権利、参政権、婚姻、労働)

- ・ 1947年第1回会議
- ・ 1957年総会で採択された「結婚した女性の国籍に関する条約」の草案作成
- ・ 1962年総会採択「合意による婚姻、婚姻年齢、婚姻登録条約」
- ・ 1965年総会採択「合意による婚姻、最低婚姻年齢、婚姻登録条約」草案作成
- ・ ILOとの連携で1951年にILOが採択した同一価値労働での男女の同一賃金条約草案作成

1963-1975年

開発への女性の参画を推進

- 1963-1967年 CSW 女性差別撤廃宣言草案作成
- 1967年 女性差別撤廃宣言が総会で採択
- 1975年 国際女性年
第1回世界女性会議
(メキシコシティ)

国際女性の十年 1976-1985

- ・ 1979年 CSWで内容を検討してきた女性差別撤廃条約が国連総会で賛成130か国、棄権10か国で採択

1980年 第2回世界女性会議（コペンハーゲン）

- ・ 1981年9月3日 20か国目の国が批准し条約として発効
- ・ 1982年 女性差別撤廃委員会が条約委員会として発足
- CSW 1985年及び1995年の世界女性会議の準備。

1985年 第3回世界女性会議(ナイロビ)

1986-1995年 女性をグローバルアジェンダに 第4回世界女性会議（1995年）への道

1992年「環境と開発に関する国連会議」（UNEP）リオ・デ・ジャネイロ
「アジェンダ21 セクションⅢ：主たるグループの役割の強化」 第24章持続可能かつ公平な開発に向けた女性のための地球規模の行動

1993年「世界人権会議」（人権委員会）ウィーン

女性の人権（human rights of women）明記

人権委員会:「女性に対する暴力（VAW）に関する特別報告者」を任命したことを歓迎

総会:女性に対するあらゆる形態の暴力の撤廃に関する宣言の採択（CSWが原案作成）

1994年「国際人口開発会議」（UNFPA）カイロ

行動計画:リプロダクティブヘルス・ライツの向上が人口政策の大きな柱として確認

第4回国連世界女性会議（1995年）

- ・ 政府間会議（17000人）とNGOフォーラム（31000人）合わせて約5万人が参加、日本からは約6000人
- ・ 「北京宣言」とジェンダー平等の聖典といわれている「北京行動綱領」が夜中から夜明けに渡る議論を経て採択された。
議長：パトリシア・リクアナン氏（10月20日午後東京で講演
ちらし参照）
- ・ 北京行動綱領 12領域：女性のエンパワーメント、
ジェンダーの主流化が北京行動綱領の主な特徴
- ・ https://www.youtube.com/watch?v=OD8_-gZ2EFk



1996-2015年 女性の地位向上のための の統合・ジェンダー主流化の推進

CSW: 1996～1999年 CEDAW選択議定書草案の検討

- ・ 1999年 総会で採択、2000年 12月発効 批准国 今年2月現在 112カ国 **日本は未批准** (CEDAWは189カ国地域、未批准：イラン、ソマリア、米国、トンガ、パラオ、ニウエ、スーダンの7カ国)

2000年

- ・ ミレニアムサミット **ミレニアム開発目標採択**
- ・ 北京+5国連特別総会開催 **バックラッシュ派**
- ・ 女性・平和・安全保障に関する国連安保理決議

第1325号 以降 8 決議、合計9決議採択

1820 (2008), 1888 (2009), 1889 (2009), 1960 (2010), 2106 (2013),
2122 (2013), 2242 (2015), 2467 (2019)



2000年6月 国連特別総会 「女性2000年会議」

「政治宣言」、「北京宣言及び行動綱領実施のための更なる行動とイニシアティブ（いわゆる「成果文書」）」採択

- 69-d 夫婦間レイプ、女性や少女の性的虐待を含むあらゆる形態のドメスティック・バイオレンスに関する犯罪に対処するため、法律の制定及び適切な制度の強化、あるいはそのいずれかの措置を採り、こうした犯罪を速やかに訴追できるようにする。
- 「配偶者からの暴力の防止及び被害者の保護等に関する法律」の策定
- 施行(2001.4)に影響

2000年会議では、バックラッシュ派が会議場の入り口などで邪魔をしたり、配布されている資料を持ち出したり、NGOを脅迫していた。

2010年 UNWomenの設立（NGOなどの要請で国連改革の一環として以下の4機関を統合）

- 国連女性の地位向上部（1946年以来CSW事務局 1982～2007年 CEDAW事務局）
- 国連女性開発基金（UNIFEM 1976年～）
- 女性の地位向上のための国際研修研究所（INSTRAW 1976年～）
- 国連ジェンダー問題特別顧問事務所(1997年～)

日本にもリエゾンオフィス 文京区シビックセンター1階

国連ウイメン日本協会は世界13カ国にある国内委員会の一つ



2011年以降のCSW優先テーマ

55(2011)	完全雇用とディーセント・ワークへの女性の平等なアクセスの促進のためを含む教育、訓練及び科学・技術への女性と女児のアクセス及び参画	○
56(2012)	農山漁村女性のエンパワーメント及び貧困・飢餓撲滅・開発・今日的課題における役割	×
57(2013)	女性及び女児に対するあらゆる形態の暴力の撤廃と防止	○
58(2014)	女性及び女児に対するミレニアム開発目標（MDGs）実施における課題及び成果	○
59(2015)	第4回世界女性会議で採択された北京行動綱領及び第23回特別総会で採択された成果文書のフォローアップ	○
60(2016)	女性のエンパワーメントと持続的開発へのリンク	○
61(2017)	変化する仕事の世界における女性の経済的エンパワーメント	○
62(2018)	農山漁村の女性と女児のジェンダー平等とエンパワーメント達成のための課題と機会	○
63(2019)	ジェンダー平等及び女性と女児のエンパワーメントのための社会保護システム、公共サービス及び持続可能なインフラへのアクセス	○
64(2020)	第4回世界女性会議で採択された北京行動綱領及び第23回特別総会で採択された成果文書のフォローアップ、および、2030アジェンダであるSDGs完全実施のための貢献	○

北京+25プロセス



**GENERATION
EQUALITY**
REALIZING
WOMEN'S
RIGHTS FOR AN
EQUAL FUTURE

テーマ:

「ジェンダー平等世代: 平等な未来のための女性の権利の実現」

2019年 アジア太平洋地域レビュー

11月23-24日 マルチステークホルダー会議@バンコク

11月25-28日 ESCAPアジア太平洋地域会合@バンコク

2020年3月9-20日 第64回国連女性の地位委員会 (CSW64/Beijing+25)

2020年9月 国連総会「北京+25ハイレベル会合」

ジェンダー平等のためのグローバルフォーラム

「ジェンダー平等世代フォーラム」

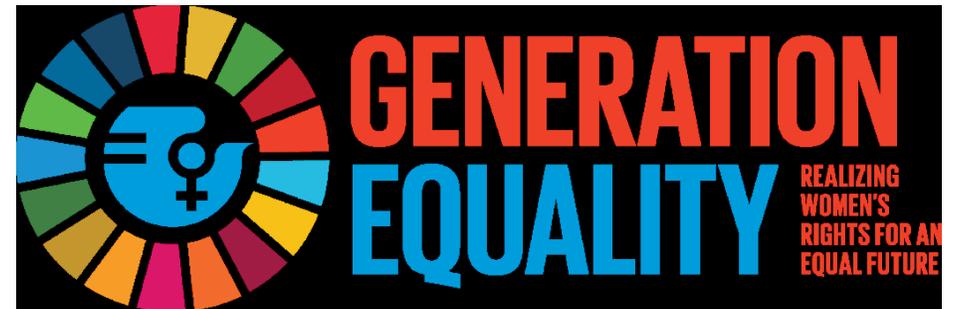
—行動の力、フェミニストの連帯、若者のリーダーシップ—

- メキシコ（2020年5月7-8日）
- パリ（2020年7月7-10日）

UN Womenおよびホスト国政府共催

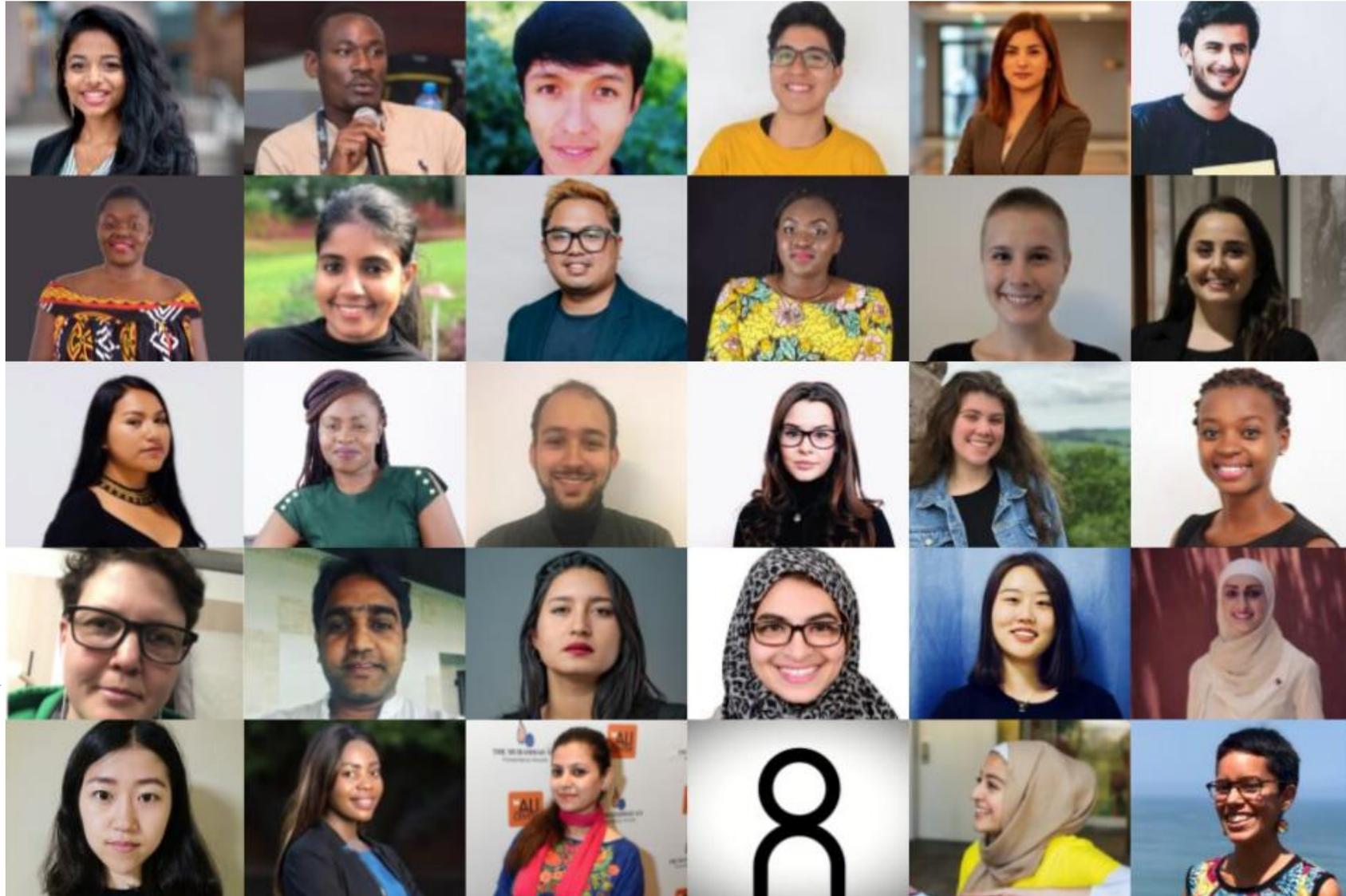
様式：グローバルフォーラム＋サテライト＋オンライン…（未定）

[参考] JAWWホームページ <https://jaww.info/news-detail.php?id=54>



ジェンダー平等世代フォーラムの英語はGeneration Equality。これは、北京会議の頃には生まれていなかった新しい世代が、当時のフェミニストたちによって北京で灯されたトーチを引継ぎ、さらに加速して走り続けるため、特に若い世代の賛同者をより増やし鼓舞するUN Womenによるキャンペーン。

北京+25 ユースタスクフォース (30人)



北京+25 レポート

- 政府による国別レポート(2019年5月提出)

ガイダンスノート by UN Women

<http://www.unwomen.org/-/media/headquarters/attachments/sections/csw/64/national-reviews/csw64-guidance-note-for-comprehensive-national-level%20reviews-en.pdf?la=en&vs=5456>

← 男女共同参画局「聞く会」およびメールでNGOからの意見聴収

各国の作成状況: <https://www.unwomen.org/en/csw/csw64-2020/preparations#national-level-reviews> G7では、日本と米国が未提出

NGOの平行レポート(地域会議およびCSW64にむけて)

ガイダンス by NGO CSW

<https://www.ngocsw.org/wp-content/uploads/2019/05/NGO-Main-Guide-2019-Supplement-5.pdf>

9カ国で作成済 アジア地域は韓国、パキスタン、スリランカ <https://www.ngocsw.org/beijing-25>

⇒JAWW NGOレポート 作成中

北京行動綱領の12領域とJAWWの独自領域

北京行動綱領の12領域

A	女性と貧困
B	女性の教育と訓練
C	女性と健康
D	女性に対する暴力
E	女性と武力紛争
F	女性と経済
G	権力及び意思決定における女性
H	女性の地位向上のための制度的仕組み
I	女性の人権
J	女性とメディア
K	女性と環境
L	女兒

JAWW独自の領域

P	ユース
Q	女性と労働
R	移住女性
S	障がいのある女性
T	男性・男児の役割
U	高齢者女性
V	農山漁村商工女性
W	マイノリティ
X	防災・減災・復興

北京行動綱領＋CEDAW＋SDGsの関連例

北京行動綱領	CEDAW	SDGs
D 女性に対する暴力 家庭内、職場、教育機関その他の場所、地域社会全般、さらに起きる場所の如何を問わず、国家が犯し又は許す肉体的、性的及び心理的暴力(1993年の女性に対する暴力撤廃宣言に基づく)	女性差別撤廃条約 5条 男女の固定観念に基づく慣行等の撤廃 6条 女性の売買・売春からの搾取の禁止 CEDAW 一般勧告19, 35号 女性に対するジェンダーに基づく暴力	<p>目標 5. ジェンダー平等を達成し、すべての女性及び女児の能力強化を行う。 目標 16. 持続可能な開発のための平和で包摂的な社会を促進し、すべての人々に司法へのアクセスを提供し、あらゆるレベルにおいて効果的で説明責任のある包摂的な制度を構築する</p> <p>5. 2人身売買や性的、その他の種類の搾取など、すべての女性および女子に対する、公共・私的空間におけるあらゆる形態の暴力を排除する。 5. 3未成年者の結婚、早期結婚、強制結婚、および女性器切除など、あらゆる有害な慣行を撤廃</p> <p>16. 1. 1 10万人当たりの意図的な殺人行為による犠牲者の数（性別、年齢別） 16. 1. 2 10万人当たりの紛争関連の死者の数（性別、年齢、原因別） 16. 1. 3 過去12か月における身体的、精神的又は性的暴力を受けた人口の割合 16. 2. 2 10万人当たりの人身取引の犠牲者の数（性別、年齢、搾取形態別） 16. 2. 3 18歳までに性的暴力を受けた18～29歳の若年女性及び男性の割合</p>

JAWWの取り組み

1. JAWW NGOLレポート作成中（2019年12月完成予定）

北京行動綱領の12領域＋JAWW独自の9分野 計21分野をカバー

日本語:冊子として販売

英語:ホームページで公開 <https://jaww.info/e/e-5.html>

2. 勉強会「北京+25」シリーズ

第1回 2019年6月14日 総会特別講演会 三浦まりさん

「政策決定への参画～2015年以降の日本の課題、世界の課題～」

資料: https://jaww.info/pkobo_news/upload/53-0.pdf

第2回 2019年8月30日 NWECフォーラム 資料: <https://www.jaww.info/news-detail.php?id=62>

「北京+25に向けて 若い世代にどう引き継いでいくか」

第3回 2019年9月24日

「～CSWって何？ なぜ2020年が重要なのか？～」



本日

第4回 2019年12月16日 (JAWW フェイスブックでも案内します)

<https://www.facebook.com/JapanWomensWatch/>

第5回 2020年3月 CSW64に向けての勉強会

9月 UNWomenのGeneration Equality month

- September: This month in Generation Equality
- UN Women's multigenerational campaign, [Generation Equality](#), marks the 25th anniversary of the Beijing Declaration and Platform for Action. Endorsed by 189 governments, the Beijing Platform for Action is the most visionary global agenda for women's rights and empowerment.

Generation Equality demands a sustainable future where women and girls have equal rights and opportunities.

Join us to make gender equality the new normal. Reach the latest news, learn campaign tips, download toolkit and share GIFs, stickers, advocacy cards and more using #GenerationEquality.

**WE DEMAND
FREEDOM FROM
VIOLENCE AND
DISCRIMINATION**

We are #GenerationEquality



Generation Equality demands :

- Freedom from violence and discrimination
- Environmental justice
- Equal economic rights and opportunities for all
- Access to sexual and reproductive health and rights
- Justice and peace for all
- Equal participation in politics and decision-making (国会の女性議員割合世界平均24.3%)
- <https://www.unwomen.org/en/get-involved/beijing-plus-25/take-action>